



さあ、漕ぎ出そう 奏でよう

Merry Christmas !

年間聖句「 わたしは道であり、真理であり、命である。」ヨハネ14章6節

0歳児	1・2歳児	3歳以上
うれしいね	わくわくするね	共に喜ぶ
保育者や友だちと一緒にクリスマスを感じ、絵本やさんびかを楽しむ	友だちや保育者と共に喜びを言葉や身体で表す	神さまがイエス様を与えてくださったクリスマスの喜びを周りの人と分かち合う
思いをことばにしてもらうことで、安心し、満たされる	冬の訪れの中で、いろいろなことを視たり感じたりして楽しむ	一人ひとりにいただいている恵みに気づき、アドベントの生活を体験する

クリスマスを迎える12月です。

Merry Christmas (メリークリスマス) と挨拶しますが、Merry (喜ぶ)、Christ(キリスト) mas(礼拝) という意味だそうです、

今や世界中がメリークリスマスと祝う一大イベントになっていますが、クリスチャンでなくても自然と「キリストを礼拝し喜ぼう！」って挨拶しているのですね。



クリスマスにまつわるお話は古くからたくさんあります。どれもテーマが「愛」です。例えばトルストイのくつやのマルチン、オーヘンリーの賢者の贈り物、オールデン原作のクリスマスの鐘など。ぜひお子さんに読んであげてください。

クリスマスは神さまの愛の表れですから、クリスマス関連のお話は子どもたちだけでなく、大人でも心がほっこりと温かく優しい気持ちになります。

こひつじ保育園の中で起きた出来事の一つを紹介しましょう。

スポーツファンデーのフィナーレを飾るのは年長児のリレーです。ある年のこと、赤チームにはこだわりの強いS君がいました。S君は追い越されると途端にやる気を失くしてスピードをわざと落としてしまいます。同じチームには飛び切り足の速い負けず嫌いのY君がいました。いつもY君の走りでは何とか他のチームとの差が縮んでいくのです。

その日もS君は追い越されたしまったとたんにガタンとスピードを落としました。Y君がどんなに頑張ってもその差は広がったまま、とびぬけのビリになってしまいました。走り終わった他のチームの子どもたちは、興奮冷めやらずで面白かったね！と話し込んでいます。

そんな中、S君はやはり少し責任を感じたのかうつむいていました。するとそこへY君が近寄り、S君の肩をポンッと叩き顔を覗き込み、こう言ったのです。「**また明日も頑張ろう！**」。本来なら一番悔しい思いをしている筈のY君なのですが、「明日はもっと頑張れよ」でなく、「明日も頑張ろう！」。

この言葉に私は胸が詰まりました。S君は大丈夫だよ、諦めないで走ろう！と普通に励ましているのです。Y君の気持ちの寛容さ、愛ある表現に本当に教えられた気がしました。

さり気ない「明日も頑張ろう」のその励ましは、私自身にグッと届いた忘れられない心温まる出来事・言葉となっています。